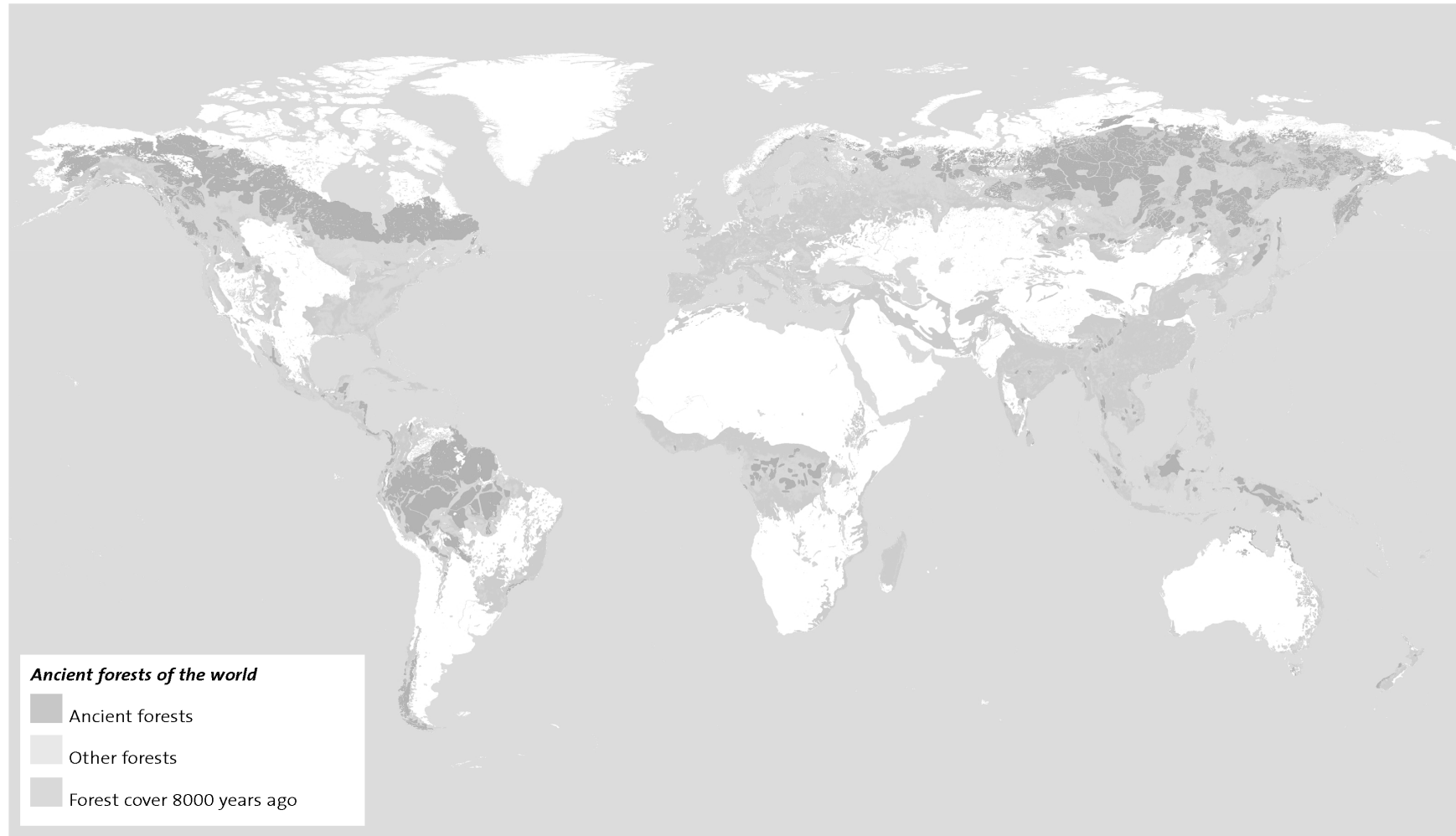


グリーンピース・ジャパン
原生林保護キャンペーン

森林問題担当 : 尾崎由嘉

世界の原生林

天然のままで人間の活動の影響を受けていない森林生態系



Map provided by World Resources Institute. Modified by Greenpeace, 2001

(出典:世界資源研究所)

脅威にさらされる原生林



- 世界の広範囲な原生林のうちの80%は、この30年間で、すでに破壊されたり、姿を変えられてしまった
- 原生林の最大の脅威は、商業伐採である

(資料 :世界資源研究所)

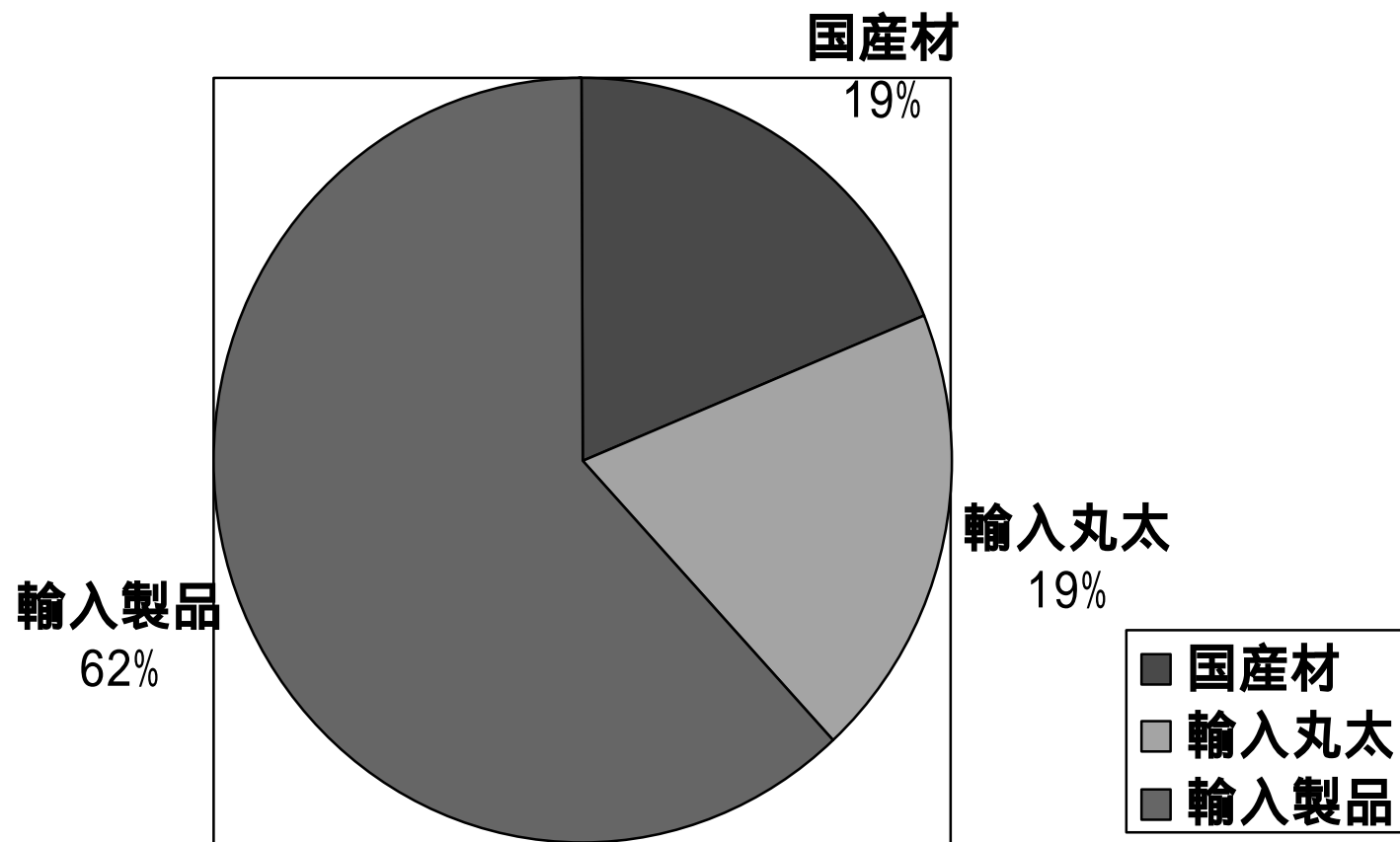
日本で消費される木製品



- **建築物** 家の構造部分、柱床、壁、ドア、など
- **日用品や道具** 机、イス、テーブルなどの家具類、ガーデニング用品、楽器、時計など
- **紙・紙製品**：コピー用紙、雑誌、チラシ など

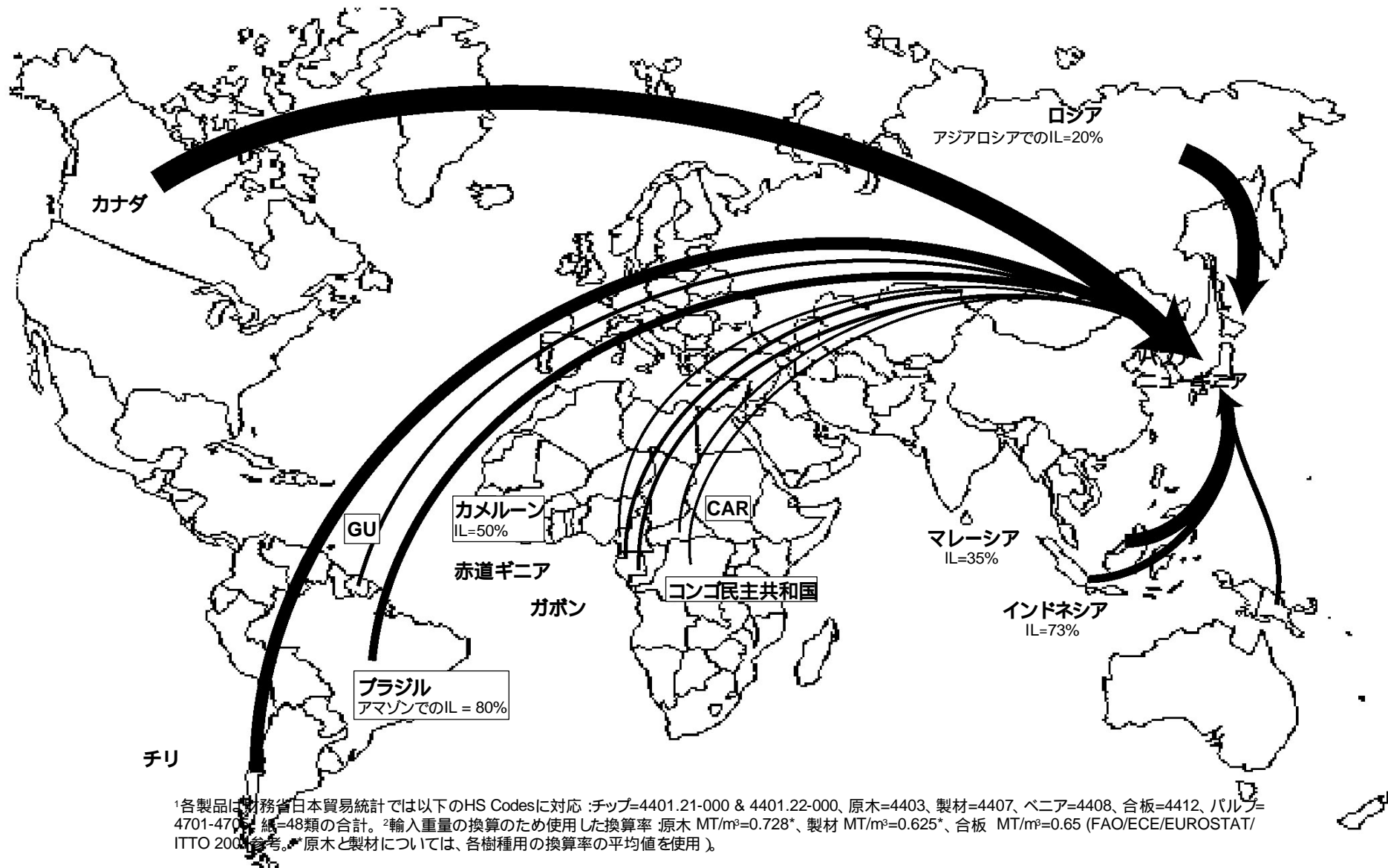
日本の木材供給の割合

平成11年（林野庁木材需給表参照）



原生林地域からの日本の林産品輸入

(平成12年分/財務省日本貿易統計より グリーンピース作成)



¹各製品は財務省日本貿易統計では以下のHS Codesに対応:チップ=4401.21-000 & 4401.22-000、原木=4403、製材=4407、ベニア=4408、合板=4412、パルプ=4701-4705、紙=48類の合計。²輸入重量の換算のため使用した換算率:原木 MT/m³=0.728*、製材 MT/m³=0.625*、合板 MT/m³=0.65 (FAO/ECE/EUROSTAT/ITTO 2004参考)。*原木と製材については、各樹種用の換算率の平均値を使用。

木材取引における違法行為

違法伐採

- 各国や国際的法律によって保護されている樹種の伐採
- 伐採権の与えられた領域以外での伐採

経理操作

- 丸太輸送時に、同じ許可証を何度も使用
- 木材の質や大きさなどが、低めに等級されたり、異なった樹種に区分されている
- 市場価格よりも安く販売したと申告し、申告利益を削減している

など

破壊的な商業伐採

- 商業目的に行われる大規模な皆伐によって、再生不可能なダメージを原生林の生態系に与える
- 環境への影響を無視した無計画な伐採
-森林の分断化など



原生林破壊による影響

- 原生林に依存する人々の生活への脅威
- 生物多様性が失われ、生態系の崩壊へ
- 地球の環境システム維持に対する影響
- 木材市場への影響

原生林に依存して生活する人々



‘森は、私たちのすべて
である。

私たちの家。

私たちの水。

私たちの食べ物。

私たちの薬。‘

カヤパ族首長のことば

生物多様性の消失



- 地球の陸上生物の
2/3は、原生林に生息
- 地球上の
24%の哺乳類
12%の鳥類
14%の植物
は、すでに絶滅

地球の環境システムの維持



- 雨量や土壌からの蒸発を左右し、天候パターンを調節
- 炭素の大量吸収を行い、世界の気候を安定化させる機能

木材市場への影響

- 合法で適切な森林管理をめざす努力を阻害し、国際市場を不安定にする
- 違法・破壊的に伐採された木材が安価に販売される一方で、国産材の供給は減少

木材消費側がとるべき対策

- 木材消費の削減、再生製品の使用
- 購入調達方針の徹底：
木材消費企業・消費者が、合法で適切に管理れた木材や
林産品の製造・販売を企業へ要求し、方針の徹底

例) 環境、社会、経済のまたがる利害関係者の
の関心に応え、生産から最終消費まで跡付けで
きるシステムのFSC(森林管理協議会)などの認証
を得た木材利用、持続可能に管理された人工林、
国産材の利用など

- 違法伐採、違法取引における
政府による厳しい輸入規制、対策



わずかに残る原生林 :カナダ



・カナダ西部の温帯雨林
スピリットベアなど、
カナダの生物の 2/3 が
原生林に生息

・ヌハーク族などの先住
民族が、原生林に依存
して生活する

危機に瀕したカナダの温帯雨林



- ブリティッシュ・コロンビア (BC)州では、長年、伐採企業による大規模な破壊的伐採が行われていた
- 最も多く木材購入していたのは、アメリカに次いで日本であった

国際市場が過剰伐採を懸念



- 1999年に、日本企業へ公開質問状を送付
- 日本企業226社が、インターフォー社から木材購入していることが判明し、調査レポートとして公表
- その後、約70社が購入中止へ

守られたカナダの温帯雨林



- 長年の活動の結果、2001年4月に、カナダ、BC州では、保護計画を改革させていく合意が達成された
- 先住民族、伐採企業、環境団体、労働者、科学者、政府の全てが、森林の健康と地域社会を守るための土地利用計画策定に役目を果たしている。
- 現在も、保護計画の進行状況の監視が重要

紙製品と変わるタスマニアの原生林

参照 <http://www.greenpeace.or.jp/campaign/forests/tasmania/>



オーストラリア、タスマニア州

降雨量が多く植生豊かな温帯雨林で、樹齢400年以上、高さが90m近くの樹木が点在する原生林

・生態系を全く無視した大規模な皆伐跡地には、紙生産向けの成長の早いユーカリ単一樹種による植林事業
伐採されたうちの90%は、日本の紙市場へ輸入

数百年以上かけて育まれた多様な生態系は、数十年で取り戻すことは不可能

消失していくアジア太平洋の原生林

参照 <http://www.greenpeace.or.jp/campaign/forests/png/>



インドネシア、パプアニューギニア などの熱帯林

30,000種の植物、500種以上の哺乳類
が生息し、先住民族の人々の生活
と話されている1,000以上の言語が存在

- ・すでに、65%の原生林が消失
- ・インドネシアでは、
70%が違法伐採と推測される

このまま対策が取られなければ、
今後10年以内に、アジア太平洋の
原生林は消失する可能性がある
といわれている

原生林減少の意味するもの

- 生態学的・社会的影響：
 - 生物多様性が失われ、生活する人々の伝統的で固有な文化の消失
 - 切り開かれた森林で、大規模な狩猟、定住、農地や人工林への転換によって、残された森林の価値を下げる
- 環境システム維持に対する影響：
森林の局地的な気候が激変し乾燥して火事が起こりやすくなる
- 木材市場への影響：
合法で適切な森林管理をめざす努力を阻害し、国際市場を不安定にさせる

